

2 各部の基本納まり図

2-6 開口部

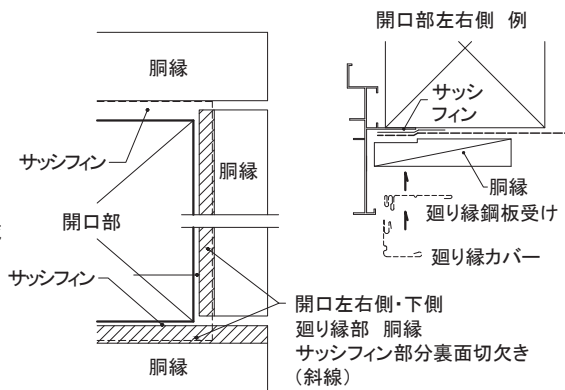
⑧ 廻り縁納め

※ 廻り縁カバーの設定があるセンターサイディングに適用します。
※ スマートフラットは廻り縁納めで施工します。

■ 施工方法および施工手順(縦張り／横張り)

手順① 防水紙・胴縁の施工

- 開口部まわりには、両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部まわりの胴縁は、幅90mmサイズを使用します。
- 開口上側の胴縁は、サッシフィンを避けて(サッシと胴縁が20～30mm程度離れている状態)施工してください。
- 開口左右側・開口下側の胴縁は、サッシフィン部分を切欠いてサッシに近づけて施工します。(廻り縁鋼板受け端部が浮いた状態だと、廻り縁カバーを取り付けにくくなるため。)



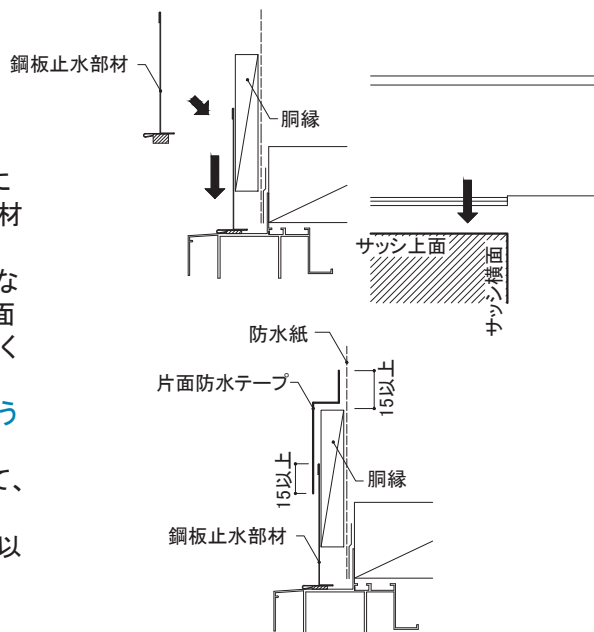
手順② 鋼板止水部材(上側)の施工

- 開口上側に鋼板止水部材を取り付けます。
- 鋼板止水部材の両端T字部を、サッシ横の面にあわせ切断加工します。(鋼板止水部材の加工方法参照)
- EPDM材が十分圧縮されるように、部材をサッシ面に押しつけながら胴縁に留め付けます。(鋼板止水部材の留め付け 参照)
- 開口上側の鋼板止水部材は、EPDM部の見掛けがなるべく小さくなるよう留め付けてください。(サッシ上面が傾斜している場合は、EPDM部の見え掛が大きくなりますのでご了承ください。)

※ 開口上側の鋼板止水部材は、継ぎ施工をしないよう1本の部材で施工してください。

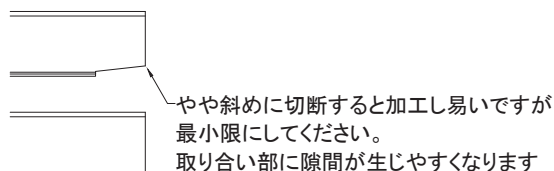
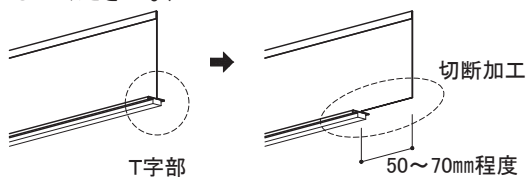
- 開口上側の鋼板止水部材～胴縁～防水紙に掛けて、片面防水テープ(100mm幅)を施工します。
- 片面防水テープは、鋼板止水部材・防水紙に15mm以上重なるように貼り付けます。

※ 隙間の出ないように十分に貼り付けてください。



< 鋼板止水部材の加工方法 >

- 鋼板止水部材の両側のT字部を指定位置で切断加工します。(加工部の長さは50～70mm程度としてください。)



< 鋼板止水部材の留め付け >

- EPDM材が十分圧縮されるように部材をサッシ面に押しつけながら、胴縁に留め付けます。
- 専用釘(ステンレスリング釘 φ2.3mm×38mm) にて@455mm以下かつEPDM部が浮く場合は適宜増し留めしてください。

